



旭市のさまざまな情報を
Facebookで公開しています
旭市 Facebook

検索



あさひ 見聞録

けん

ぶん

ろく

旭市消防操法大会

消防操法の技術を競い合う

消防団員が日ごろの訓練成果を披露——。
6月5日、旭文化の杜公園で消防操法大会が
開催され、消火技術を競い合いました。主な
結果は次のとおり（敬称略）。

【団体】

ポンプ車の部／1位：第1中隊第3分団第1部
2位：第2中隊第4分団第2部 **小型ポンプの部**／1位：第1中隊第2分団第2部
2位：第2中隊第6分団第3部
※旭市代表として海匠支部消防操法大会に出
場。

【個人】

ポンプ車の部／最優秀指揮者：高木幸司（第
2中隊第7分団第1部） 最優秀1番員：大
橋康裕（第1中隊第3分団第1部） 最優秀2
番員：鎌形寛（第1中隊第1分団第2部） 最
優秀3番員：宇井達哉（第2中隊第7分団第
1部） 最優秀4番員：岩井武士（第1中隊第
3分団第1部） **小型ポンプの部**／最優秀指
揮者：八木秀幸（第1中隊第2分団第2部）
最優秀1番員：谷中賢（第1中隊第2分団第
2部） 最優秀2番員：榎本宜靖（第1中隊第
2分団第2部） 最優秀3番員：遠藤浩行（第
1中隊第2分団第2部）



- ①ホースを担いで走り出す
- ②「放水始め」の号令で火点に向かう
- ③前方の火点に向かって放水

6月5日 文芸賞「海へ」 募集要項発表



文芸賞を語る高橋順子さん

飯岡地区出身の詩人、高橋順子さんが審査委員長を務める文芸賞「海へ」の作品募集要項が発表されました。これは、文芸を通じて震災を語り継ぎ未来へ生きる希望を与えようというもの。

記念講演で高橋さんは「文芸は新しいものを求めていく世界。数百年後の人の命を津波から救ってあげたい」などと話していました。

5月29日 たくさんの人が参加 春のゴミゼロ運動

ごみの散乱防止と再資源化促進の普及啓発を図り、きれいなまちづくりをするため、春のゴミゼロ運動が市内各地で行われました。この日は早朝から、子ども会や老人クラブを含む9,517人の市民が参加。道路脇の草むらや側溝などから、約14tものごみが拾い集められました。



ごみ拾いをする子どもたち

5月24日 銚子連絡道路の 早期完成に向け



まちづくりについて話す蟹瀬さん

第18回銚子連絡道路整備促進地区大会が、銚子市青少年文化会館で開催されました。関係者など約750人が出席し、一日も早い完成を図る決議を採択しました。また「～振り向けば未来～歴史から学ぶ未来の国づくり町づくり」と題し、ジャーナリストの蟹瀬誠一さんによる基調講演も行われました。



よい歯のコンクールの最優秀賞受賞者(前例)

よい歯のコンクール、歯・口の健康啓発標語コンクール

歯や口の健康を守って「歯っぴー」

歯や口に関する知識を広め関心を持ってもらおうと、よい歯のコンクールなどが6月9日、飯岡保健センターで開催されました。入賞は次のとおり(敬称略)。

【よい歯のコンクール】

8020の部/最優秀賞：浪川静子(後草) 優秀賞：佐藤賢作(二)、石川光枝(二)、伊勢滋(新町)、西村安江(口)、大木保子(口)、浪川よし(三川) 親と子の部/最優秀賞：川口綾乃・夢晟(二)

【歯・口の健康啓発標語コンクール】

小学生の部/最優秀賞：「よくかんで しっかりみがいて げんきなは」大久保愛生(古城小2年) 中学生の部/最優秀賞：「毎日の歯みがきからのヘルスケア」笹浪陽樹(海上中3年)

※最優秀賞受賞者を旭市代表として県審査会に推薦。

2団体と災害時応援協定を締結

避難所に畳や福祉用具を提供

災害時に必要な支援物資などを供給してもらうため6月2日、2つの災害時応援協定が結ばれました。

これにより全国の畳店で組織する「5日で5000枚の約束。プロジェクト実行委員会」からは、災害時に不便な避難生活を少しでも和らげてもらえるよう、避難所に畳が無償で提供されます。また全国350社が加盟する「一般社団法人日本福祉用具供給協会」からは、高齢者や障害者の避難生活に必要な介護用品や衛生用品などが優先的に供給されます。



協定を締結した「5日で5000枚の約束。プロジェクト実行委員会」(左)と「一般社団法人日本福祉用具供給協会」(右)

6月
12日

川口沼親水公園で あやめまつりが開催

満開のあやめが見ごろを迎えた川口沼親水公園で、あやめまつりが開催されました。これはボランティアで日ごろから管理をしている「あさひ学友会地域活動部会」が初めて実施したものです。

この日は花を觀賞する多くの人でにぎわい「近くにこんなにきれいな場所があるとは知らなかった。来年も見に来たい」などと話していました。



見ごろを迎えた満開のあやめ

6月
12日

体力づくりと交流を 目的に380人が集う



ボールの行方を見守る参加者

旭スポーツの森公園で「市民スポーツのつどい」が開催され、380人が参加しました。行われたのは、グラウンドゴルフ、ミニバレーの2種目。グラウンドゴルフに出場したお年寄りと小学生たちは、打ったボールの行方に歓声を上げながら笑顔でコースを回っていました。

6月
9日

6月
11日

学校に通いながら 2泊3日の共同生活

子どもたちが、食事の準備や片付け、地域の家の風呂を借りる「もらい湯」を経験する通学合宿が海上保健センターで開催されました。夕食では、市内のまちおこし団体や学生ボランティアの指導を受けながら作った、米粉のシチューとハンバーグを「おいしい」と言いながら頬張る子どもたちの姿がありました。



ハンバーグを作る参加者